

科目名	色彩			
授業形態	講義	学年	1	
開講時期	2022年度 後期	単位数	2	
担当教員	高橋 延昌			
内容および計画	あらゆる生活とかかわる「色彩」について、教養基礎科目として主に人間科学や文化的側面から学ぶ。基本的な色の体系や配色、そして色覚の多様性への対応「カラーユニバーサルデザイン」を中心に学ぶ。特定の色を判別しにくい人が、日本人男性は20人に1人、白人男性は10人に1人が存在するといわれているが、人によって見え方が違うことやその対処法を学び、これからの多様性ある社会に役立ててもらいたい。			
1	ガイダンス（1）「色の不思議」			
2	ガイダンス（2）「色覚の多様性」			
3	ガイダンス（3）「人によって色が違う」			
4	第1章 色のユニバーサルデザインの考え方			
5	第2章 色が見えるしくみ（1）			
6	第2章 色が見えるしくみ（2）			
7	第3章 色の表し方「色相・明度・彩度」（色の三属性）			
8	第3章 色の表し方「色相とトーン」			
9	第4章 色覚異常による色の見え方（1）			
10	第4章 色覚異常による色の見え方（2）			
11	第5章 高齢者の見え方			
12	第6章 ユニバーサルデザイン			
13	第7章 色のユニバーサルデザインの進め方			
14	見えづらい例と改善例			
15	事例や参考資料について			
教科書				
	タイトル	著者名	出版社	発行年
	色彩検定公式テキスト UC級	日本色彩研究所	グラフィック社	9784909928122 2022
参考書				
成績評価				
	評価方法			割合(%)
	出席状況（授業ごとのミニツツペーパーを含む）			50
	期末試験			50
出席確認は、ミニツツペーパー等の提出をもっておこなう。				
学習到達目標				
先修条件				

実務経験	
その他	色彩は、芸術系のみならず、経営戦略（効果的な色彩で売り上げアップ）、食物の味覚訴求力（美味しく見える色）、幼児のアート教育、福祉施設のカラーセラピーなど様々な分野に関わるものであるので、多様な学科・コースからの履修を歓迎する。色彩を通じて教養を高めてほしい。